

きゅう食がでできるまで

# ～生(せい)さん者(しゃ)のど力(りよく)や想(おも)い～

幼稚園

小学校



みんなのまわりには、新(しん)せんで美味(おい)しい野(や)さいや食(た)べ物(もの)がたくさんありますね。

『い(い)ただ(だ)き(ま)す』は、大(たい)切(せつ)な食(た)べ物(もの)の命(いのち)に感(かん)じやする言(こと)ばです。

『ご(ご)ち(そ)う(さ)ま(で)し(た)』は、食(た)べ物(もの)を育(そだ)てたり、食(じ)事(じ)を作(つく)ったりする方(か)たがたへ感(かん)じやの気(き)持(も)ちを表(あらわ)す言(こと)ばです。



こころをこめて、食(じ)事(じ)のあいさつをしましよう。

あんなもの(あんなもの)を食(た)べてもらいたいので、農(のう)業(やく)をで(つ)かきだけ使(つか)わないで、さいばいしています。



新(しん)せんな野(や)さいを食(た)べてもらいたいので、畑(はたけ)からし(は)きゆうか(か)くしてす(す)ぐにき(き)ゆう食(じ)セン(セン)ターにとどけています。

おいしい野(や)さいを育(そだ)てるため(ため)に、自(じ)分(ぶん)自(じ)身(しん)のけん(けん)こう(こう)かん(かん)理(り)にも、気(き)をつけています。



きせつ(きせつ)や食(た)べる草(くさ)によって、牛(ぎゆう)にゆうのあ(あ)じが(が)かわるので、牛(うし)が食(た)べる草(くさ)も大(たい)切(せつ)に育(そだ)てています。

